

秋田大学大学院教育学研究科

教職実践専攻

令和7年度（第I期）入学試験問題

筆記試験

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題冊子には、問題用紙が1ページ、解答用紙が1ページあります。
- 3 問題は1題です。
- 4 問題冊子（問題用紙と解答用紙）の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 監督者の指示に従って受験番号を受験番号記入欄に記入しなさい。
- 6 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 8 試験終了後、解答用紙を除く問題冊子は持ち帰りなさい。

筆記試験 問題用紙

問 題

『学習指導要領解説 各教科等編』では、「通常の学級においても、発達障害を含む障害のある児童生徒が在籍している可能性があることを前提に、全ての教科等において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援ができるよう、障害種別の指導の工夫のみならず、各教科等の学びの過程において考えられる困難さに対する指導の工夫の意図、手立てを明確にすることが重要である。」と述べられている。

このことについて、次の問いに答えなさい。

(出典：文部科学省 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 各教科等編(平成29年7月)』, 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 各教科等編(平成29年7月)』, 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 各教科等編(平成30年7月)』)

通常の学級において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援に留意した授業または活動の1単位時間の指導計画(略案)を作成しなさい。

なお、作成に当たっては、次の【条件】に従うこと。

【条件】

- 学校種を、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の中から一つ選んで記述する。学年(幼稚園は年齢)、教科等(領域または活動も可)、単元名(題材名または活動名も可)を解答用紙の形式に従って記述する。
- 一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導や支援に関わる「教師の支援」の手立てにアンダーラインを3か所以上引く。また、その「教師の支援」の意図を、「(3)教師の支援の意図」欄に記述する。
- 解答用紙の2の(2)における「過程」欄には、導入、展開、まとめなどを記述する。

筆記試験 解答用紙

受験番号	
------	--

学校種・学年（幼稚園は年齢）			
教科等（領域または活動も可）			
1 単元名（題材名または活動名も可）			
<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td></td> </tr> </table>			
2 本時の計画			
(1) 本時のねらい			
<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td></td> </tr> </table>			
(2) 学習過程：本時は全（ ）時間の（ ）時間目			
過程	学 習 活 動	教 師 の 支 援	
(3) 教師の支援の意図			